

令和5年度 外科専攻医指導プログラム

飯塚病院 外科

【現状】

- ・スタッフ 9名
- ・外科専攻医 6名
- ・受け入れ可能 2名
- ・年間手術件数 1062例（外科のみ）
 - 消化管 510例
 - 肝胆膵 260例
 - 心臓・血管 167例
 - 呼吸器 297例
 - 乳腺 154例
 - 小児外科 122例
 - 外傷 5例

外科専攻医 到達目標

1年目

縫合：外傷の皮膚縫合、手術創の埋没縫合。

開腹・閉腹。

ヘルニア：診断と手術適応の決定および手術（主に前方アプローチ）。

虫垂炎：診断と手術適応の決定および手術（腹腔鏡）。

急性胆嚢炎：診断と手術適応の決定および手術（低難易度に対する腹腔鏡）。

イレウス：診断と手術適応の決定および手術（低難易度）。

乳腺：診断（マンモグラフィー、乳腺エコーの読影）と手術適応の決定および手術（低難易度）。

小児外科：ヘルニアなどの助手（手術のみ）。

* 希望者は心外・呼吸器外・救急のローテ可能。

外科専攻医 到達目標

2年目

ヘルニア：診断と手術適応の決定および手術（～TEPP）。

虫垂炎：診断と手術適応の決定および手術（～強炎症に対する腹腔鏡）。

胃：（腹腔鏡下）胃局所切除。

小腸部分切除。

人工肛門造設。

急性胆嚢炎：診断と手術適応の決定および手術（～腹腔鏡は全例）。

肝臓：開腹肝部分切除（肝表面）。腹腔鏡下肝部分切除（S3/S4/S5表面）。

胆膵：PD時の胃空腸吻合、ブラウン吻合。

イレウス：診断と手術適応の決定および手術（～中難易度）

乳腺：診断（針生検など）と手術適応の決定および手術（～中難易度）

小児外科：ヘルニアなどの助手（手術のみ）。

*希望者は心外・呼吸器外・救急のローテ可能。

外科専攻医 到達目標

3年目

ヘルニア：診断と手術適応の決定および手術（～TAPP）。

虫垂炎：診断と手術適応の決定および手術（～強炎症に対する回盲部切除）。

急性胆嚢炎：的確な診断と手術適応の決定および手術（～強炎症に対する開腹切除）。

食道：術前化学療法を含めた治療構築周術期の管理。

胃：幽門側胃切除（開腹、腹腔鏡も少数例）

大腸：S状結腸切除（開腹、腹腔鏡も少数例）、回盲部切除（開腹、腹腔鏡も少数例）

肝臓：開腹肝部分切除（～中難易度）。腹腔鏡下肝部分切除（～肝表面なら領域問わず）。

胆膵：PD時の胆管空腸吻合。尾側膵切除（Anterior-RAMPS; 開腹、腹腔鏡も少数例）。

イレウス：的確な診断と手術適応の決定および手術（～高難易度）

乳腺：診断と手術適応の決定および腋窩郭清を含む手術（～中難易度）、術後治療選択

小児外科：ヘルニアなどの助手（手術のみ）。

* 希望者は心外・呼吸器外・救急のローテ可能。

学会活動、論文作成など学術的な活動

1年目

地方会（外科集談会、九州肝臓外科研究会、九州外科学会など）で発表する。

2年目

全国学会（日本臨床外科学会など）で発表する。

和文論文か英文症例報告を作成する。

3年目

全国外科主要学会（外科学科、消化器外科学会など）で発表する。

英文で症例報告か原著論文を作成する。